

平成 28 年度都市システム工学科 教員・学生懇談会  
議事録

日時：2017.2.7（火）13:10-14:10

◆授業、カリキュラムについて

- ・大学院授業で休講が多すぎる授業がある。授業を 5～6 回しかしておらず、補講もしていない。
- ・大学院授業で、授業が時間割通りに行われないのがとても不満。・大学院授業で、休講の連絡が当日にある科目があり、大変困る。2 回ぐらい。（・学部授業で、振動工学の講義科目（選択必修）と学生実験（必修科目）の内容に関連性を持たせてほしい。
- ・人格を否定するようなことを話ながら（アカデミックハラスメント）事前レポート（実験）を返却するのをやめて欲しい。（
- ・授業が延びて（課外授業）、次の授業（必修）に建築設計製図の全履修者が遅刻して欠席扱いになった。
- ・鉄の棒を支持棒に使っているのも、それで指されることに少し恐怖を感じる。
- ・オフィスアワーの時間に質問に行っても先生がいない場合がある。質問に行くタイミングが掴みづらい。
- ・大学内で学生が使用できる PC を今より増やしてほしい。
- ・担任の制度が機能していないので無意味なのではないか。先生による。
- ・喫煙者が学生に禁煙を勧めることに納得がいかない。
- ・授業アンケートの説明資料が全授業で同じなので、わざわざ全てを紙で配布しなくても良いのでは。
- ・資料をコピーして持ってこないといけない授業があり、次年度以降、学内コピーが有料になるのであれば、自分でコピーが必要な授業はシラバスに書いておいてほしい。
- ・授業アンケートや時間外届等を紙ベースのやりとりではなく、デジタル化した方がよい。
- ・年度途中から着任した先生の名前がシラバスに記載されていないので、連絡先を調べられない。

◆研究指導について

- ・修士論文の秋の M2 の中間発表の時期を早めて欲しい。9月くらいが希望。
- ・M1 の中間発表会は3月で妥当。
- ・水戸キャンパスで製図室が使えないので学生は可哀想。
- ・研究に対する質問も全く返事がなく、助手から連絡がある。内容について助手は理解できておらず、言葉のみを伝達しているのみである。
- ・研究相談をしたいのに、指導教員と連絡が取れない場合が多い。
- ・研究指導はしてくれるが、大学行事（入校制限等）の連絡がない。
- ・体臭がきついことが多いので、もう少し清潔にしてほしい。ストレスを感じる。
- ・研究室に依頼がきた先生の仕事の手伝いで、旅費を学生自身が払っているのが不満。
- ・時間外届を出している研究室と出していない研究室がある。時間外届を出さなくても作業ができる状況なので、時間外届は不要なのでは。
- ・研究室が狭いので広くしてほしい。
- ・実験室がキャンパス内に点在していて移動に不便なので、まとめた方がよい。